

宮城県北部地方振興事務所栗原地域事務所から 森林土木工事受注者の皆さまへお願い

県では、事故防止を図るために「第6次県工事事務所事故防止対策推進計画」及び「令和7年度工事事務所事故防止対策事業計画」を策定しております。令和7年度県工事事務所事故防止対策事業計画では、工事事務所の発生傾向を踏まえ、事務所ごとに安全管理目標及び具体的な取組を定めて、重点的に実施していくこととしております。

このことから、宮城県栗原地域事務所林業振興部では、下記のとおり安全管理目標を設定し、目標達成のための具体的な取組を掲げ、事故防止に取り組んでいくこととしますので、**皆様のご協力をお願いいたします。**

安全管理目標

労働災害について

- ・ 事故件数（軽微な事故を含む）、森林土木工事では「0件」を目標とします。
（※過去5年間における発生件数：栗原管内の森林土木工事13件うち発生0件）
- ・ リスクアセスメントに取り組み、危険度リスクの軽減を図り、災害ゼロを目指します。

公衆災害について

- ・ 公衆災害の発生、森林土木工事では「0件」を目標とします。
- ・ 埋設物の有無について事前に調査のうえ、埋設管接触等の事故ゼロを目指します。

具体的な取組

- 監督職員及び主任監督員による現場点検を月1回実施する。
- 昨年度、県内の森林土木工事において「転倒」、「転落」事故が発生したことから、**危険の見える化や4S（整理・整頓・清掃・清潔）の徹底**、防滑靴の着用など安全パトロール等を通じて指導する。
- 掘削作業を行う場合、埋設管接触事故が生じないように、埋設管の有無について事前確認を徹底する。
- 「慣れ」や「慢心」が原因となる事故が多いことから、定期的に現場作業員に対し注意喚起を行う。

令和7年の事事故例

発生日時：令和7年1月18日（土）

事故の型：転倒、転落

被災状況：腰椎の骨折・多箇所打撲（全治30日以上）

事故状況：防潮堤天端から岩盤を渡り次の防潮堤天端に移動中、岩盤狭所部で足を滑らせ海側に転落。転落の際、岩盤及び消波ブロックに体を打ち付け、腰椎骨折・打撲を負ったもの。

事故原因：足下の安全確認不足、危険箇所の認識不足、工事用通路の整備・明示不足



各種紹介

- 「第6次県工事事務所事故防止対策推進計画」（宮城県事業管理課 HP）
URL：「<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/jigyokanri/dai6jisuisinnkeikaku.html>」
- 「令和7年度県工事事務所事故防止対策事業計画」（宮城県事業管理課 HP）
URL：「<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/jigyokanri/reiwa7nenjikoboushitaishaku.html>」
- 「職場のあんぜんサイト」（厚生労働省 HP）
URL：「<https://anzeninfo.mhlw.go.jp/#>」
- 「エイジフレンドリーガイドライン」（厚生労働省 HP）
URL：「https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_10178.html」

QRコード

